

平成30年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	410	災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる
施策	413	地域で連携し、犯罪抑止力・対応力を高める
施策の目標	区民と区内事業者が連携した地域の力でさまざまな防犯対策に取り組むことにより、犯罪が未然に抑止され、すべての人が安全で安心な暮らしをしています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	体感治安について肯定的評価をした区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標	18.4				22.0					26.0
実績	18.4									
指標名	区政全般に対する区民の満足度の点数									
	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標	3370				3200					2800
実績	3370									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
一定額の補助はしているものの、燃料費調整制度に応じて電気代が上下するため、申請団体からはそれに連動した補助金額にしてほしいとの要望がある。	H28	8,764
	H29	8,787
	H30	

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	燃料調整制度に応じた補助金の要望や申請に応じた事業費の移り変わりは、地域連携による犯罪抑止力意識の向上の表れといえるため。

4 今後の施策の運営方針

一次評価	最終評価	施策の戦略的方向性
		(1) 優先的に資源投入を図る。
		(2) 現状維持とする。
		(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
		(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】		
これまで使用されている私道防犯灯については、水銀灯、蛍光灯といった水銀を使った製品であり、特に水銀灯については2020年以降は製造も輸出入も禁止されるため、LED化が求められる。		
【今後の具体的な方針】		
私道防犯灯数は約2900本であり、うち平成26年度から現在まで約300本をLED化にしてきた。今後は水銀灯を中心にLED化にするための計画的助成を行う。		

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	
						年度目標値	直近の評価内容
						年度実績値	評価結果
							評価対象年度
1	防犯灯補助事業費	8,787	4,441	13,228	防犯対策として防犯灯の維持を地域の力で取り組むことにより、地域防犯力の強化や区民の防犯意識の向上が図れる。	2,945、2,205	現状維持
						2,936、1,935	平成29年度
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

平成30年度 事務事業評価シート

施策	413	地域で連携し、犯罪抑止力・対応力を高める	部内優先順位					
事務事業	防犯灯補助事業費					1		
事業概要	道路交通の安全、犯罪防止及び都市美化を図るために設置された防犯灯の電気代を補助する。					主管課・係(担当)		
						都市整備課細街路対策担当		
						03-5608-6292		
施策への関連性	防犯対策として防犯灯の維持を地域の力で取り組むことにより、地域防犯力の強化や区民の防犯意識の向上が図れる。							
必要性・妥当性	区民のニーズ							
	代替可能性の状況(区が実施する必要性等)							
	私道でも公共性は高いので、防犯灯の電気代の補助は必要である。							
有効性・適格性	手段に対する指標(活動指標)	指標	防犯灯基数(累計)				単位	基
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		3,065	37	目標	2,930	2,945	2,960	2,975
				実績	2,928	2,936		
			H32	H33	H34	H35	H36	H37
			目標	2,990	3,005	3,020	3,035	3,050
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	電気代を助成している防犯灯の本数である。							
	目的に対する指標(成果指標)	指標	犯罪件数(非侵入窃盗)				単位	
最終目標値		目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31		
1,925		37	目標	2,244	2,205	2,170	2,135	
			実績	2,244	1,935			
		H32	H33	H34	H35	H36	H37	
		目標	2,100	2,065	2,030	1,995	1,960	1,925
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
防犯灯の維持管理を地域で行うことにより、区民の防犯意識や夜間の通行環境が向上し、「すり」「ひったくり」などの非侵入窃盗が減少する効果が期待されるため。								
財政面〔決算額〕(単位：千円)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
	8,767	8,787						
	H35	H36	H37	〔予算の傾向〕 防犯灯の増加による助成件数増に伴い、上昇している。				

1 必要性・妥当性					
区民ニーズの有無	ある				
代替可能性の有無	ない				
区が実施すべき強い理由があるか	ある				
判断理由					
私道でも公共性は高いので、防犯灯の電気代の補助は今後とも必要である。					
2 有効性・適格性					
事業の目的が施策に合致しているか	合致している				
指標は目標値を満たしているか	成果指標のみ満たしている				
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある				
判断理由		必要性 妥当性	有効性 適格性	効率的 経済性	評価結果
私道でも公共性は高いので、防犯灯の電気代の補助は今後とも必要である。		5	4	5	4
3 効率性・経済性		改善・見直しの上継続			
目的・対象が類似する事務事業はないか	ない				
実施工程やコストに改善の余地がないか	ない				
地域社会やその他住民への波及効果があるか	ある				
判断理由					
区民の防犯のために必要である防犯灯の維持管理に必要である。					
中間・最終年度の講評	灯具が水銀灯や蛍光灯からLEDに替わることで見直しの必要がある。				
今後の方向性	私道でも公共性は高いので、防犯灯の電気代の補助は今後とも必要である。今後も引き続き、犯罪抑止力維持のため防犯灯の補助を行っていく。				

平成30年度 補助金評価シート

補助金名称	私道防犯灯補助金						主管課・係（担当）	
根拠法令	墨田区防犯灯補助金交付要綱						都市整備課細街路対策担当	
事業概要	道路交通の安全、犯罪防止及び都市美化を図るために設置された防犯灯の電気代を補助する。【昭和44年度】						03-5608-6292	
							事業の終期	
							平成37年度	
必要性・妥当性	区民のニーズ							
	代替可能性の状況（区が実施する必要性等）							
	私道でも公共性は高いので、防犯灯の電気代の補助は必要である。							
有効性・適格性	手段に対する指標 (活動指標)	指標	防犯灯基数(累計)				単位	基
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		3,065	37	目標	2,930	2,945	2,960	2,975
				実績	2,928	2,936		
			H32	H33	H34	H35	H36	H37
		目標	2,990	3,005	3,020	3,035	3,050	3,065
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	電気代を助成している防犯灯の本数である。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	犯罪件数（非侵入窃盗）				単位	件/年
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		1,925	37	目標	2,244	2,205	2,170	2,135
				実績	2,244	1,935		
			H32	H33	H34	H35	H36	H37
		目標	2,100	2,065	2,030	1,995	1,960	1,925
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
防犯灯の維持管理を地域で行うことにより、区民の防犯意識や夜間の通行環境が向上し、「すり」「ひったくり」などの非侵入窃盗が減少する効果が期待されるため。								
財政面 〔決算額〕 (単位：千円)	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
	8,767	8,787						
	H35	H36	H37	〔予算の傾向〕 防犯灯の増加による助成件数増に伴い、上昇している。				
施策への関連性	防犯対策として防犯灯の維持を地域の力で取り組むことにより、地域防犯力の強化や区民の防犯意識の向上が図れる。							

1 必要性・妥当性		5	
区が実施する理由があるか	ある	目的が政策上の位置付けと整合しているか	している
目的・内容等が社会経済情勢に合致しているか	している	不特定多数の利益の増進に寄与するか	している
区民ニーズに即しており、公益上必要と認められるか	認められる	個人利益に対する利益に留まらず適切な対象範囲に波及するか	する
区の施策目標の実現に寄与しているか	している		

判断理由

防犯灯の維持管理に必要である。

2 有効性・適格性		3	
経費、補助額の算定根拠が明確になっているか	なっていない	交付機会の公平性や負担の公平性が確保されているか	されていない
区が負担する割合として適切か	適切である	補助団体の活動内容が目的と合致しているか	該当なし
任意団体に対する補助の場合、自立化を促進するものであるか	該当なし	補助目的及び金額に見合う実績等の効果があるか	ある
補助目的が既に達成されていないか	されていない	目標及び見込まれる効果が明確か	不明確
団体等が自らの財源で賄う範囲と区の支援範囲が明確となっているか	なっていない	効果測定の具体的な目標・指標が明確か	不明確

判断理由

マンション建設による町並みの変化や防犯灯の多様化による助成金の改善・見直しが必要である。

3 効率性・経済性		5	
類似する補助事業がないか	ない	地域社会や区民等へ波及効果があるか	ある
手続が過度に煩雑でないか	煩雑ではない	個人の経済的負担軽減の場合、実質的公平性を考慮しているか	している
目的に対する区の負担割合が適切か	適切		

判断理由

<p>【評価結果】</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">改善・見直し</p>	
--	--

中間・最終年度の講評	灯具が水銀灯や蛍光灯からLEDに替わることで見直しの必要がある。
今後の方向性	私道でも公共性は高いので、防犯灯の電気代の補助は今後も必要である。今後も引き続き、犯罪防止維持のため防犯灯の補助を行っていく。